

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年5月6日(金)

第11号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

全国から支援が届く仲間のつながりは心強いと被災者が組合加入
建設職人が行うボランティア活動は、やっぱり見た目がスマート



被災後



ボランティア活動中



作業終了後

5月2日に熊建労に新加入した田中俊成さん(サイディング工 29才)は、地震で大きな被害を受けながら地区の絆で下敷きになった9人を救った“奇跡の集落”として報道された、西原村の大切畑(おおきりばた)地区から、余震の続くなか東部支部を訪ねてきました。

「4月16日の本震のあと1日~2日は土砂崩れで自衛隊も入れず、なにも物資が届かなかったのを山を超えて福岡まで買い出しに行き、地区のみんなで分けあって食べた。」と、当時の様子を語ってくれました。「熊建労はよかよ」と、1ヵ月前に別支部で加入した友人から聞いていた田中さん、4月に独立した機会に熊建労に加入し労災と中建国保をさっそく手続きしました。

加入申込を書くあいだも被災地に一番近い東部支部では、支援物資やブルーシートを取りに来たり、相談をする組合員・家族で出入りが途切れません。その様子を見ながら「仕事のつながりも嬉しいが、全国から支援が届く仲間のつながりは心強い。」と、さっそくガラ袋を支援物資からもらって「日用品や食品は、よくわからんけん妻と一緒にまた来ます」と言って帰られました。

被災した大分建労からも
支援物資が届けられました



今回の地震で、これだけの地面のずれが生じています。地震のすごさを実感できると思います。

布田川断層の現実
これだけのずれが!

1、被害状況（該当支部）

5/6 9:00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	計
ケガ	0	0	7	6	1	14
家全壊	1	1	62	10	6	80
半壊 瓦・一部	8		150	21	100	279
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)				1
土石流避難		4				4

(1) 被災地の状況

- 秋津レークタウン市営団地では、上下水道いまだ使えず。
- 被災地のマンション等集合住宅では、水を使うとどこかで漏れる為、工事が終わるまで水使用できず。
- 戸建て住宅の給湯器が軒並み倒れている。
- 借家住まいの組合員から、大家に取り壊すから出ていくように言われた。

(2) 被災した仲間の要望（また地域住民からの要望）4日

- プレハブを譲ってくれる方を探しています。
※有料でも譲れる方は、各支部まで連絡ください。
- レトルト食品や缶詰の要望が多い

2、支援活動

(1) 支援

- 3・4日に続き、福建労から13人がボラティアに参加。
- 大分建労より3台の車に分乗し、8人の仲間が支援物資をもって来熊
- 宇城支部小崎さん 東部支部志村さんより個別の支援物資が届きました。

(2) 全国からの激励・支援（予定）

- 7日に全建総連より2人東京土建より5人来熊予定

<何か困ったことがあれば熊建労まで連絡を>

- ・熊建労 東部支部 熊本市東区健軍 2-10-11 TEL096-365-6626
- ・熊建労 西部支部 熊本市西区春日 7-1206-14 TEL096-283-7811

屋根瓦補修等で、転落事故が起きています。必ず労災加入を！

ボランティアが必要な組合員に声掛けを！
毎日、ボランティア登録を受け付けています。

ボランティアに伺った組合員からは、「こんなに良くしてもらって、本当にありがとうございます」と感謝の言葉をいただいています。組合だからこそできる助け合いの精神で、これからの復興本番を全組合員で乗り越えていきましょう。不安になっている仲間に、一言でも声をかけていきましょう。

『明日は我が身』の考えの元、ボランティア活動に参加をお願いします。被災した仲間は途方に暮れています。自分でできることをやっていきましょう